

第5章 条件分岐



を押しながらクリックすると別ウィンドウでYouTubeがみれる

[CTRL]キー

第5章 条件分岐

if文

条件分岐とは

- 条件に応じて処理の流れを分岐する仕組みです。
- if文は正しいか否かの2値(真偽値)を使って分岐します。
- 条件は条件式で記述できます。

if文の書き方

- 条件が正しい場合に実行する処理を記述します。
- elseを使うことで正しくない場合に実行する処理も記述できます。
 - └ elseは省略が可能です。

文法 if文の書き方

```
if (条件式) {  
    条件式が正しい場合に実行する処理  
} else {  
    条件式が正しくない場合に実行する処理  
}
```

条件式

- 比較演算式は「文字列」や「数値」を比較して真偽値を返します。

演算子	概要	条件式の例	結果
==	左辺と右辺が等しい場合は正しい	1 == 1	正しい
!=	左辺と右辺が等しくない場合は正しい	1 != 2	正しい
<	左辺が右辺より小さい場合は正しい	1 < 1	正しくない
<=	左辺が右辺以下の場合は正しい	1 <= 1	正しい
>	左辺が右辺より大きい場合は正しい	1 > 1	正しくない
>=	左辺が右辺以上の場合は正しい	1 >= 1	正しい

第5章 条件分岐

実習①

準備

- 前章で作成したプロジェクトを継続して使用するか、サポートページから本章のひな形をインポートして下さい。

実行結果

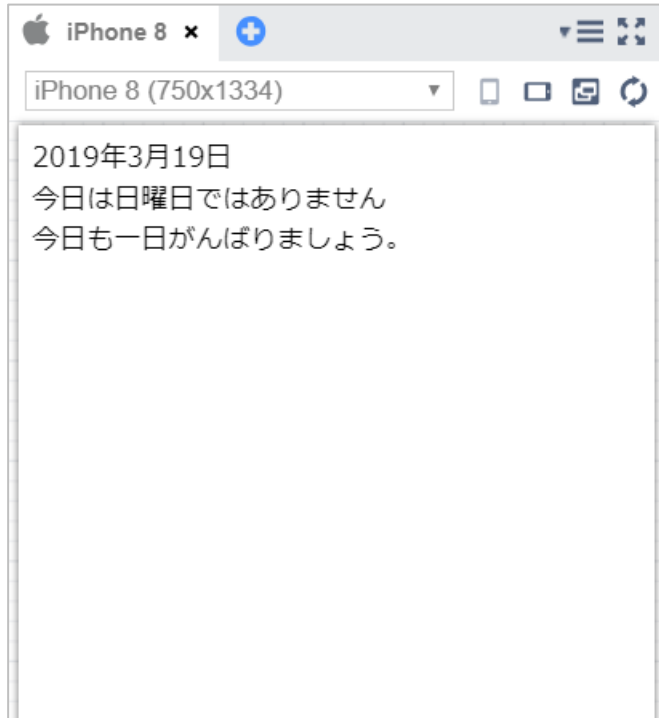


実習

- scriptタグにif文を使ったプログラムを追記して下さい。

```
<script>
  // 日付に関する命令を使えるようにする
  var date = new Date();
  // 年、月、日の取得
  var year = date.getFullYear();
  var month = date.getMonth() + 1;
  var day = date.getDate();
  // 日本の表記にする
  var today = year + "年" + month + "月" + day + "日";
  document.write(today);
  // 曜日を取得
  var weekday = date.getDay();
  if(weekday == 0) {
    document.write("<br>今日は日曜日です");
  } else {
    document.write("<br>今日は日曜日ではありません");
  }
</script>
```


実行結果



第5章 条件分岐

多方向分岐

多方向分岐とは

- 条件に応じて処理の流れを多方向に分岐する仕組みです。
- 例えば、曜日毎にメッセージを変えたい場合に利用できます。
 - └ if文を7個書いても実現できますが、可読性は良くありません。
 - └ 今回学ぶelse if文を使えば分かりやすく記述できます。

else if文の書き方

- else if 文は何回でも記述できます。

文法 if文の書き方

```
if (条件式1) {  
    条件式1 が正しい場合に実行する処理  
} else if(条件式2) {  
    条件式2 が正しい場合に実行する処理  
} else {  
    条件式が正しくない場合に実行する処理  
}
```

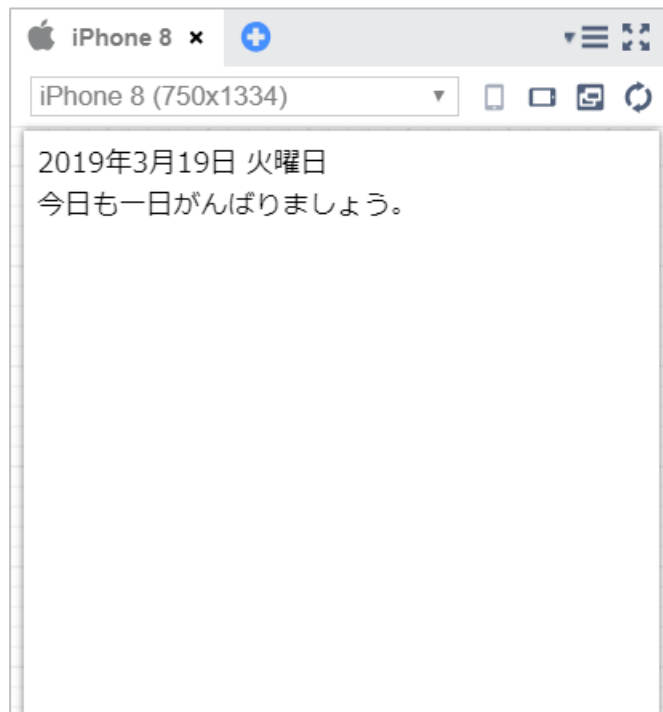
第5章 条件分岐

実習②

準備

- 先ほどのプログラム開いて修正する

実行結果



実習

- scriptタグにif文を使ったプログラムを追記して下さい。

```
<script>
// 曜日を取得
var weekday = date.getDay();
if(weekday == 0) {
    document.write(" 日曜日");
} else if(weekday == 1) {
    document.write(" 月曜日");
} else if(weekday == 2) {
    document.write(" 火曜日");
} else if(weekday == 3) {
    document.write(" 水曜日");
} else if(weekday == 4) {
    document.write(" 木曜日");
} else if(weekday == 5) {
    document.write(" 金曜日");
} else if(weekday == 6) {
    document.write(" 土曜日");
} else {
    document.write(" エラー！ ");
}
</script>
```

実習②にプログラムを追加して、その月の10日以前なら「○月上旬」、11日～20日以前なら「○月中旬」、21日以降なら「○月下旬」と表示するようにしてください。

入力ができたら、メニューバーの保存ボタンを押してください。保存されたら、「Web公開」して発行されたURLを進捗シートにコピーペーストしてください。